



1. これまでの緑に関する主な取組

1.1. 緑あふれる東京基金（令和2年（2020年）3月）

区市町村は、都民に最も身近な基礎的自治体として、地域における課題やサービス等の需要を把握・分析した上で、創意工夫を凝らしながら、その地域に適した多様な施策を展開しています。緑の保全・創出においても、農地や樹林地等の緑の保全や、公園緑地の整備、民間に対する緑化誘導等による緑の創出など、それぞれの取組の主体として役割を担ってきました。

都は、令和2年（2020年）3月、都市における生産緑地、樹林地等の保全や新たな緑の創出などにより、緑を一層豊かにし、ゆとりと潤いのある東京の実現に資する事業に要する資金に充てるため、区市町村による緑の保全・創出の取組等の支援に活用できる緑あふれる東京基金を設置しました。基金の活用にあたっては、都市部を中心とした緑の量の増加及び減少の抑制に資する事業の中で、生産緑地の保全、公園不足地域の解消、貴重な自然を保全する広域的な緑のネットワークの確保等、特に緊急の対応が求められる東京の緑が直面する課題の解決につながる事業に対して優先的に充当しています。

1.2. 「東京グリーンビズ」（令和5年（2023年）7月）

東京都は、「自然と調和した持続可能な都市」を目指し、都民や企業・団体など様々な方々とともに、東京の緑を「まもる」「育てる」「活かす」取組を進める、100年先を見据えた緑のプロジェクト「東京グリーンビズ」を推進しています。

1.3. 「2050年東京戦略」（令和7年（2025年）3月策定）

東京都は、令和7年（2025年）3月に、新たな都政の羅針盤として、都の総合計画となる「2050東京戦略 ～東京 もっとよくなる～」を策定しました。

「2050東京戦略」では、2050年代の東京の将来像「ビジョン」を描き、バックキャストで2035年に向けて取り組む28の「戦略」を示しています。

本戦略の「19 緑と水」にて、「豊かな緑と水が織りなす潤いと安らぎの都市 東京へ」というビジョンを掲げ、東京グリーンビズを強力に推進しています。